
田中最強伝説

儀豆

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

田中最強伝説

【著者名】

儀豆

N6867A

【あらすじ】

田中がまたもやうらない」と頭を抱える
…

(前書き)

「」書いたのは一ヶ月だったので季節が流れますが、紙にせずに読んでくださいな！（P.A.）

俺は高校2年生の田中まこと。

ちなみに身長は165だ。

ヒーリングの...。

おつ。

電話だ……めずらしこともあるもんだ。

誰だ?

「もしもし?」

「おひつう。俺あれ。今バイクと事故っちゃってた...」

ぬ?!

「...これは噂の...オレオレ詐欺なのか...?」

「はい。誰でしょか。」

「俺だつてば!わかんねーかな。えつとまことじ。」

事故ったのは俺らしい。

「今ばかりたらヤバイじゃん。で、相手も示談してくれるらしくて…俺も家帰れば金あるんだけど家まで取つてくれるって言つたら逃げるつもりか！とか怒りはじめちゃつてたあ…。」
やばいじyan!!

「…で？俺はどうしたらいいんだー？」

「彼のアーチャーは、二三回

「いくら必要なんだ？！」

なんせ俺が今捕まつたら大変なことになる。

「まあひで？！－恩にきるよ。やっぱ持つべきものは友達だよな。ち
や、今から言う口座に5分以内に振込んでくれ－言つぞ！」
「うーん…ふん？－まあでも俺のピンチな訳だししょうがない！－紙
とペン－な、ない！－ええい－手に書いてやる－！」

۷

「わあ、俺ー！ 口座番号を早くー！ 手遅れになつちまうまえにー！」

「おまえ人馬鹿にすんなよ！？もおいいよ！！」

プツ・プープープー・

えつ？？！！

切るなよ！時間ねえんだから！－！

かけ直し…つて！非通知！やべえ！

今俺が俺を助けないで誰が俺を俺の代わりに助けるって言つんだ？－！

……

かかつてこない…

……

ええい！－！－自首してしまえ！－！

110番110番…

やべえ…（自称）地元で頭張つたこの俺がマッボに電話するべり
いで手が震えてやがる…。

「もしもしし、ひびひ 署です。どうかしましたか？」

「えへつと…、やつき俺が事故つちやつたみたいなんですけど…」

「あ、そうなの。住所わかる？現場そのままにしてそこで待つてください。」

「住所ちよつとわからないんですけど…なにせ急だつたもので。」

「焦らなくて大丈夫ですよー、落ち着いてくださいねー」

「はー、ありがとうござります」

「とりあえず被害者の方の状態は大丈夫なんですね？」

「はー、先ほど示談について話した時に早くしろと怒つてたぐらいですから大丈夫なんでしょうねえ」

「きみねー。大丈夫なんでしょーねーって相手が怪我してないから良かつたものの、

これでもし相手殺しちゃつてたかもしれないんだから他人事のように言つのは良くないんじやないかねー。

とりあえず、今から行くから大体の場所教えてください。」

「だからわからんないつてばー！」

「…。

じゃあ、田立つ看板は近くにありますか？」

「だーかーら、何回も言つてるようにならないんですつてばー！…だからこゝして警察に自首して俺が逃げ出しておおことになるのを防ぐつと思つたわけじやないですかー！」

「…きみの友達が事故を起こしたのか？」

「いやいやー俺です！俺が言つてんだから間違いないですつてばー！」

「…で、場所はわからないと？」

「はい。

なにせ俺が知らないうちに勝手に俺が事故したって電話かかってきてさつきはじめて知つたぐらいなんですから。」

「…」

「…あのねえ、こんなこと言いたくないんだけど
こっちも忙しいんだわ。

だからあんたみたいなのに付き合ひてる暇はないの。な。じゃ、もう切るからな。」

ガチャ、ツーッ、ツーッ、ツーッ…

なんなんだ？！

いつたい今日は何の日なんだ？

あ！

エイプリルフール？

いや、決して違うであります。

だいいち今1~1月で肌寒いし。

てか今思つたけど、

もしや警察お得意の

「モクーン（黙認）」

つてやつ？！？

まぢ俺つて最高に最強じやねえ？？？

マッポさえも俺にびびつちまうなんて
まぢで俺も悪くなつたもんだな。

この分じゃ明日学校でみんなにオレオレ白腫するしかねえみたいだ
な！！！

完

(後書き)

読んでくれてありがとうございます！！呆れた人もそうでない人も
なにかコメント残して行ってくれると有り難いです　とりあえず田
中は馬鹿なんです：

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6867a/>

田中最強伝説

2011年1月29日02時17分発行